

ポストコロナにおける 新たな人の流れの創出について

岩手県ふるさと振興部

1 国の動き ～ 地方への人の流れの強化 ～

「まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020改訂版）」 R2.12.21閣議決定

○ 感染症による様々な影響

- 地域経済・生活への影響：産業・雇用情勢、交流人口の減少等社会的な影響
- 国民の意識・行動変容：テレワークの普及と地方への関心の高まり
地方への人の流れ、企業の意識・行動変容



○ 感染症による意識・行動変容を踏まえた、ひと・仕事の流れの創出

感染症を契機とした、地方移住への関心の高まりを、地方への大きなひと・仕事の流れにつなげていくため、地域の魅力を高め、人を惹きつける地域づくりや魅力を発信していくことが重要

○ 各地域の特色を踏まえた自主的・主体的な取組の促進

感染症の影響を踏まえ、地域の特色や状況を把握し、隣接する地域との連携を図りつつ、各地域が自主的・主体的に取り組むことが重要

2 本県の取組み状況

人交密度向上プロジェクト

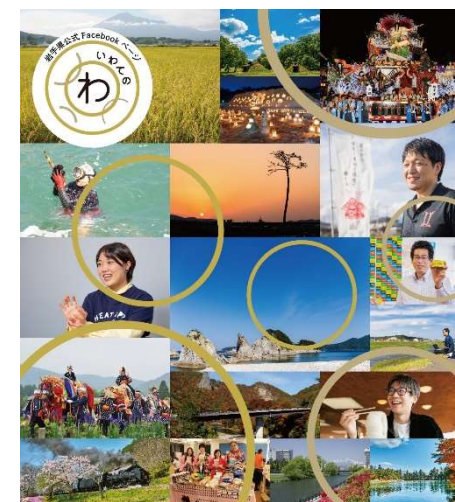
■情報発信

- いつでも岩手につながることを整える環境を整備するため、市町村と連携した情報発信プラットフォームを構築し、11月から運用開始。
- 市町村・県が保有する様々なネットワークを活用し、プラットフォームの周知とフォロワーの獲得を進めるとともに、関係人口の創出・拡大に向けて情報発信を充実。

■取組強化

- 全国的に関係人口の創出・拡大に向けた取組が実施されている中、関係人口が岩手県を知る、訪れる、関わる、拠点を持つ等、様々な形で岩手とのつながりを深める取組を実施。

情報発信プラットフォーム
「いわてのわ」



いわてが好き。

そんなあなたとつながりたくて、
岩手県公式Facebookページ「いわてのわ」を開設しました。
みなさんと「わ」が広がるきっかけを創っていきます。



地域複業による関係人口創出
「遠恋複業課」



3 今後の方向性

新型コロナウイルス感染症の拡大を契機として、地方への関心が高まっていることから、市町村や関係団体等と連携し関係人口の質的・量的な拡大を図るとともに、関係人口から移住定住までの切れ目のない取組を実施していく。

(1) 「いつでも岩手につながる」情報発信の強化

- 地域と多様に関わる関係人口の創出・拡大を図るため、プラットフォームのフォロワー属性等の分析などを行いながら、市町村と連携して効果的な情報発信を行う。

(2) 「多様な主体」との「多様な交流」による岩手への人の流れを生み出す取組の強化

- 多様な本県との関わり方を構築するため、市町村と連携して具体的に地域に関わる仕組みを確立しながら、首都圏との交流や地域課題解決につながる取組を促進するなど、関係深化に向けた取組の充実を図り、「多様な主体」との「多様な交流」を促進し、岩手への人の流れを生み出していく。

【参考】令和３年度における県主催等大規模イベントの開催予定について（開催予定時期順）

No.	イベント名	開催予定時期	場所	イベント概要	担当部局	備考
1	東北デスティネーションキャンペーン	4月～9月		・東北6県が連携して東北の魅力を国内外に発信し、東北観光のブランド化を進め、将来にわたって東北への誘客に寄与する仕組みづくり ・全国ＪＲ主要駅でのポスター掲示等によるプロモーション展開、デジタルスタンプラリーの実施等による広域周遊の促進、期中イベント等誘客イベントの開催 等	商工労働観光部	
2	東京2020NIPPONフェスティバル（東北復興プログラム） 「しあわせ運ぶ旅 モッコが復興を歩む東北からTOKYOへ」	5月（予定）	陸前高田市 高田松原津波復興祈念公園 （予定）	「復興オリンピック・パラリンピック」を象徴する事業の1つとして、復興を歩む東北の人々とともに創り上げる大会公式の文化プログラムである、東京2020NIPPONフェスティバル（東北復興プログラム）「しあわせ運ぶ旅 モッコが復興を歩む東北からTOKYOへ」を通じ、本県の復興の姿や郷土芸能などの魅力を国内外に広く発信するもの。	文化スポーツ部	・主催：（公財）東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 ・共催：岩手県、宮城県、福島県
3	東京2020オリンピック聖火リレー	6月16日～18日	県内28市町村	東京オリンピックの開催に向けた聖火リレーの実施	文化スポーツ部	
4	「第16回食育推進全国大会inいわて」	6月26日、27日	メイン会場：岩手県産業文化センター アビオ、サブ会場：いわて県民情報交流センター アイーナ	岩手県の自然に恵まれた「食」を全国にPRするとともに、食育の重要性について県民理解の更なる促進を図り、県民運動としての食育を広く展開するため、2日間にわたり食育に関する講演会、ワークショップ等のイベント及びブース展示などを行うもの。	環境生活部	

5	2020年東北・新潟の情報発信拠点事業「東北ハウス」	7月22日～8月7日	アキバ・スクエア（東京都）	東京2020オリンピック期間中に、東京に情報発信拠点を設置し、「感謝」・「交流」・「明日へ」の3つのゾーンで東北・新潟の魅力を発信。岩手県デー（7/27～28）では、観光PR等を実施	商工労働観光部	
6	東京2020パラリンピック聖火フェスティバル	8月12日～16日	県内全市町村	東京パラリンピックの開催に向けた聖火の採火式、集火・出立式の開催	文化スポーツ部	
7	第21回全国中学校総合文化祭岩手大会・第20回岩手県中学校総合文化祭	8月19日（木）、20日（金）	岩手県民会館、県公会堂	全国中学生の文化芸術活動の舞台発表や展示発表を行い、広く各都県市の中学生の相互交流及び親睦を図るもの。本大会を通じて、2011年東日本大震災からの復興に大きな力となった岩手県の中学生の力を全国に示すとともに、様々な方々に支えられたことへの感謝の意を表す。	岩手県教育委員会	
8	三陸国際芸術祭	前期：4～9月 後期：10～3月	三陸沿岸各地	郷土芸能を中心としたイベント	沿岸広域振興局	主催は三陸国際芸術推進委員会（振興局は委員として参加）
9	三陸国際ガストロノミー会議2021及び交流会	9月	調整中	「食」を軸に据えた三陸地域の振興を図るため、県内外の著名なシェフや専門家等の講演やトークセッション、交流会等「食の関連イベント」を実施するもの。	農林水産部	
10	復興道路シンポジウム（仮称）	第3四半期	宮古市内	復興道路全線開通による整備効果を官公庁、有識者及び道路利用者等の様々な観点から県内外に発信するもの。併せて、復興道路整備に係る関係者への謝意を示すもの。	県土整備部	

11	第13回いわての森林の感謝祭	10月	釜石市	森林整備功労者知事感謝状贈呈、記念植樹、記念標柱建立、植樹活動等	農林水産部	主催：岩手県、釜石市、公益社団法人岩手県緑化推進委員会
12	2020東京大会・日本博を契機とした障害者の文化芸術フェスティバル 東北ブロック開催	10月	盛岡市 ※主な会場：いわて県民情報交流センター アイーナ	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、グランドオープン(R2.2月、滋賀県)を皮切りに、全国7ブロックにおいて、全国で一体となって障がい者文化芸術の振興を図るもの。	文化スポーツ部	
13	「第37回法人会全国大会岩手大会」	令和3年10月7日	盛岡市民文化ホール、ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング	法人会の「税制改正に関する提言」の内容を発表する場であるとともに、全国各地の法人会の代表が一堂に会し、相互の交流と研鑽を通じて、より一層連携を深めることを目的とした大会。	総務部	持ち回り開催
14	令和3年度健やか親子21全国大会	11月4日、5日	盛岡市民文化ホール、アイーナ	母子の健康水準向上のための国民運動計画である「健やか親子21」の推進を図るため、講演やシンポジウム、功労者への表彰等を行う。	保健福祉部	持ち回り開催
15	「防災推進国民大会（ぼうさいこくたい）2021」（仮称）及び併催事業	11月6日、7日	釜石市（TETTO他）	国民の防災意識の向上、避難行動の定着等を図るため、国民各層の多様な団体・機関等が一堂に会し、2日間にわたり防災に関するセッション、ワークショップ及びブース展示などを行うもの。	ふるさと振興部	
16	宮古真鱈まつり	後期（1月）	宮古市	真鱈の販売を中心としたPRイベント 参加人数：5,000人	沿岸広域振興局	主催は宮古真鱈まつり実行委員会
17	令和3年度全国高等学校総合体育大会第71回全国高等学校スキー大会	2月	八幡平市	冬季インターハイスキー（アルペン、クロスカントリー、スペシャルジャンプ、ノルディックコンパインドコンパインド）競技を開催	岩手県教育委員会	